

令和7年1月

大野市教育委員会定例会  
会議録

日 時：令和7年1月24日（金）午前10時00分～午前11時30分

場 所：大野市役所 談話室



## 大野市教育委員会 1 月定例会 次第

令和 7 年 1 月 2 4 日（金）午前 1 0 時 0 0 分～  
大野市役所 談話室

### 1 開会

会議録署名人 松田委員 羽生委員

### 2 1 2 月定例会の会議録の承認について

### 3 教育長重要事項報告

### 4 議事

議案第 1 号 専決処分の報告及び承認について（令和 6 年 1 2 月専決補正予算）

議案第 2 号 大野市小中学校施設管理計画の改訂について

議案第 3 号 大野市民間保育所等電気料金高騰対策支援事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱案

### 5 付議事項

1) 児童生徒指定学校変更許可について

資料 1

2) 大野市こども・若者計画（案）について

資料 2

### 6 その他

1) 教育委員会所管施設の使用料改定案について

資料 3

2) 卒業式における教育委員会告辞の出席者について

資料 4

3) 2 月行事予定について

資料 5

・定例教育委員会 2 月 1 0 日（月）午後 3 時 3 0 分～ 大会議室

4) 1 2 月の業務報告について

資料 6

5) その他

### 7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
	委員	羽生たまき
事務局（説明者）	事務局長	横田晃弘
	教育総務課長	土蔵郁代
	学校教育審議監	山川龍一
	こども支援課長	山崎勝彦
	生涯学習・文化財保護課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課課長補佐	森永奈緒子

<傍聴者>

なし

## 【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会 1 月定例会を開会する。

## 【教育理念唱和】

## 【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、松田委員、羽生委員に願います。

## 【1 2 月定例教育委員会会議録の承認について】

【教育長】事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があれば願います。

——<意見・質問なし>——

【教育長】1 2 月定例会会議録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認する。

## 【教育長重要事項報告】

【教育長】本日は、少々日が空きますが昨年 1 0 月に大野高校で開催された「福井県高等学校定時制通信制連合文化祭」からお話させていただく。その文化祭は公立私立を合わせたものであった。結論から言えば、行って本当に良かったと心から思ったということである。当文化祭には、書道や絵画等の展示、生活体験発表会、ワープロ技能協議会の 3 部門があった。

本日はその中の生活体験発表会についてお話する。1 0 人の参加者があり、一人 7 分の持ち時間であった。演題をいくつか紹介する。「いつからでもやり直せる」「一握りの勇気」「僕なりの生き方」「私に必要だった時間」「過去、現在、そして未来」などであった。ある生徒は、中学校で不登校になったけれど、もう一度頑張りたいと定時制に入学した。ある生徒は、一度全日制の普通科に入ったが自分のイメージしていた成績が取れず一学期で登校できなくなった。ある生徒は、高校での人間関係がうまくいかず中退してしまった。それぞれが深刻な背景をもっており、十人が十人ともに挫折を経験したが、もう一度頑張ろうと意を決して前を向いた子たちだった。

私は彼らの発表を聞きながら考えた。このような思いの子たちは定時制や通信制だけでなく、全日制にも中学校にも小学校にもこども園にもいるはずだ。子ども大人を問わず、それぞれが何らかの悩みや不安を抱えながら日々生きている。一人一人に寄り添い、健やかに育てる仕組みを充実させることがぜひとも必要である。

本市は、本年度より新たに「結・協議会」という協議体を立ち上げた。長年にわたって進学や生徒指導について情報交換してきた中高連絡協議会を今年

から小学校にまで広げて、小中高の連携強化に重点を置いて具体策を協議している。新年度からはこども園も含め、名実ともに18年をつなぐ取り組みを総合的に進めていきたいと考えている。現在も大野っ子育成の集いを核に、中高、小中、幼保小とそれぞれ連携した取り組みを行っており、それを土台に18年を通した連携を一層強化しようという試みである。

18年をつなぐ教育を進めるには大野市は最適規模の自治体である。冒頭に触れた連合文化祭における彼らの訴えを胸に置き、0才から18才まで一貫して自己実現をサポートすることの大切さを新年に当たり改めて決意した。

### 【議事】

【教育長】議案第1号 専決処分の報告及び承認について（令和6年12月専決補正予算）、事務局の説明をお願いします。

――<事務局長説明>――

【教育長】議案第1号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】議案第1号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

――<異議なし>――

【教育長】議案第1号について、事務局の提案どおり承認する。

議案第2号 大野市小中学校施設管理計画の改訂について、事務局の説明をお願いします。

――<教育総務課長説明>――

【教育長】議案第2号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】議案第2号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

――<異議なし>――

【教育長】議案第2号について、事務局の提案どおり承認する。

議案第3号 大野市民間保育所等電気料金高騰対策支援事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱案について、事務局の説明をお願いします。

――<こども支援課長説明>――

【教育長】議案第3号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】議案第3号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

――<異議なし>――

【教育長】議案第3号について、事務局の提案どおり承認する。

### 【付議事項】

【教育長】付議事項1) 児童生徒指定学校変更許可について、事務局の説明をお願いします。

――<学校教育審議監説明>――

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

――<意見・質問なし>――

【教育長】有終西小学校から開成中学校へ進学を希望している児童は、現在6年

生の対象者11名中4名、有終東小学校から陽明中学校へ進学を希望している児童は対象者9名中3名、有終南小学校へ入学を希望している児童は対象者13名中3名で、これまでに他の理由で4名が変更の申請をしているので、合計7名の方が希望している。

【教育長】付議事項1)については、以上とする。

付議事項2)大野市こども・若者計画(案)について、事務局の説明をお願いします。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問などがあればお願いします。

【松田委員】施策の柱4乳・幼児期の支援の中に、3歳以上の主食の提供に取り組むという記載がある。経費などがかかってくると思うが、どのように進めていくか教えてほしい。

【こども支援課長】民間保育園の一部では既に主食を提供している。来年度は、希望している民間のこども園2園とすべての公立保育園で主食の提供を考えている。経費としては、炊飯器の購入、電気設備の補修工事、食器の購入などがあるが、県が進めている事業でもあり、事業費の2分の1の県補助金を活用してこの機会に導入したいと考えている。保護者からは、現在の給食費に米の購入代を加算して負担金をいただくことになる。

【松田委員】既に先行している園にとっては不公平な気もする。食器を洗う手間などが出てくると思うが、調理師の仕事量が増えるのではないか。保護者にはご飯を弁当箱に詰めるという負担はあったかもしれないが、今後は経営面の負担があるのではないか。村部では自分の家で米をつくっているところもある。米は今値上がりしているので、費用面でも行政が少しカバーしてあげないと、不満を持つ人も出てくると思う。

【こども支援課長】先に取り入れている園では設備が整っているので、不公平感があるのは承知しているが、県が進めるタイミングで大野市も進めたい。米を家から持って行った方が経費は安く済むが、母親世代に意見を聞かせていただいたところ、6割は賛成であり、どちらでもよいと答えた方を含めると8割程度が賛成であった。女性の意見としては、毎日ご飯を弁当箱に詰めたり毎日弁当箱を洗ったりする手間が改善できるし、あたたかいご飯を食べさせてあげることができるということで賛成の意見が多かった。

調理師は、公立ではあかね保育園に3人、荒島保育園に2人、阪谷保育園と和泉保育園に1人ずつ配置している。調理師の負担も考えて事前に相談させてもらった。負担は増えるが、何とか協力したいと言ってもらえている。民間保育園では、調理師の負担も増えるので導入を見送るところもある。

——<その他意見・質問なし>——

【教育長】付議事項2)については、以上とする。

## 【その他】

【教育長】その他1)教育委員会所管施設の使用料改定案について、事務局の説明をお願いします。

——<総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他 1) については、以上とする。

その他 2) 卒業式における教育委員会告辞の出席者について、事務局の説明をお願いします。

——<学校教育審議監説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他 2) については、以上とする。

その他 3) 2月行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【学校教育審議監】結協議会について説明したい。昨年度までは主に進学を中心とした中高の連絡協議会を年 3 回、中学校長と高等学校長の間で行ってきた。小中の連携についても、幼少の連携についても行っているが、総合的に連携をはかって 18 年をつなぐ教育を行うために、まず小中高の三者の連絡協議会を結協議会という名称で今年度立ち上げた。第 1 回は中学校を会場に小学校からは校長の代表、中高からは全員の校長が集まり、授業を参観したり小中高の連携やこれからの連携の在り方について協議した。2 回目は大野高校を会場として、授業参観させていただいた後に同様の協議をはかっている。3 回目は富田小学校を会場にして、授業参観と連携の在り方の検討を行う予定である。来年度は 18 年をつなぐ教育として就学前の保育園代表の方にも参加いただき、幼小中高連携の在り方について検討をしていきたい。毎年夏季休業中に行っている教職員対象の「大野っ子のつどい」の内容についても結協議会で検討していきたい。教育総務課で作成している「大野っ子育成プラン」のリーフレットにも、結協議会に参加いただいている団体の方々の意見も反映させて、18 年をつなぐ教育が実現できるようなプランを考えていきたい。

来月開催の教育環境調査研究委員会において、委員長である福井大学の松木先生から講話をいただくが、今年度は 18 年をつなぐ教育というテーマでお願いしている。

——<その他意見・質問なし>——

【教育長】その他 3) については、以上とする。

その他 4) 12月の業務報告について、説明は省略するが、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他 4) については、以上とする。

その他 5) その他で、事務局から何かあるか。また、委員からも何かあればご発言いただきたい。

【こども支援課長】明日、おおの天空パーク O S O R A の完成記念式典にご参列をお願いしたい。

【松田委員】18 年をつなぐ教育はとても良いと思う。保育園、幼稚園、小中学校も何らかの課題は抱えているが、特に高校が難しい。大野の高校へ積極的に行きたい子が減ってきているのではないか。自分の周りの子どもたちが市外や県外の高校を目指して出て行っているのは心強く思う部分もあるが、大

野の高校に魅力を感じないのではないかと思う。大野市は18年をつなぐ教育や医療費の補助などバックアップをしていると思うが、子どもに魅力が伝わっていないのだと思う。新聞に丹生高校ホッケー部の記事が載っていたように県外から生徒が来ている高校もある。18年をつなぐ教育の中で小中高が手を取り合って大野の高校に進学してもらうことができないか。それが親の負担軽減にもつながり、郷土愛にもつながると思う。良い方向へもっていったらと思う。

【松谷委員】大野市に郷土愛が残るとするのはその子が育った環境が反映していると思う。行政では存分にバックアップできていると思う。それが発揮できる場所、自分が輝きたいという子どもの心はいろんな方向に向いているので、その心を支援しつつ、生活の中のことでも支援しつつ、高校進学にもいろんな選択があると思う。大野の高校を選んでくれるというのは、学校に魅力があるということが大事だと思うので、大野の高校にコネクションが出来たら良いと思う。

【羽生委員】家の娘が進学を考えた時、大野高校には音楽科がなく、目指したいものがそこにあるということで福井市の高校を選んだ。それを曲げて目指す活動ができる選択肢がなかった。やむなくそういう選択をしても、郷土愛や地元に対するものには何ら変わりなく、郷土愛は今も心に生きている。親としては、今目指したいものがここにあると言われたら、経済的な負担も大きい背中を押して送り出した。ただ一度外に出てみて大野の良さが分かることもある。15年間ではあったが、それは消えることがなかった。とても難しい問題だと思う。

【教育長】結協議会のようなシステムを整備していきたい。今の子どもたちはα世代と呼ばれる世代で、国際感覚が優れていて、デジタルネイティブであり、男女や年齢に対して非常に寛容であるなどダイバーシティ感覚が強く、自分を大切にするという特徴がある。その中で自分の将来を見た時に、何が自分に合っているのか何が大切なのかを考え、個人の選択が出てくるのだと思う。よく言われるのが、郷土愛というのは小学校までは自然、文化、遊びに親しませることが大切で、中高は人との関わり、大人との関わりが大切であるということである。その中で、自分はどう生きるかということ学ぶ。そういう意味でも、結協議会の中で小中高とどんなことを子どもたちに体験させ、考えさせ、学習させるとよいか十分に考えていきたいと思っている。

【羽生委員】最近テレビの報道で、いじめや不登校の数が増えていると聞いて危惧していた中で、福井市の問題がクローズアップされている。県内の小学校ではタブレットを活用して、朝の会でその日の心身の状況をお天気マークで実際に発信して、担任とやりとりしているというのを聞いた。いろんなことの早期発見や対応も含めて、良い取り組みで有効活用だと思いながら見ていた。当市において、小学校や中学校の朝の会などでそのようにチェックする機能があれば教えていただきたい。

2点目に20歳のつどいについてお聞きしたい。今年から会場を結とびあに変更して、近隣の方からは場所も広くて明るかったのでいろんな方とお話できて良かったと好評をいただいている。参加者の反応はいかがだったか。

【学校教育審議監】大野市では令和5年度から心と体の健康チェックに取り組んでいる。各学校に配信し、健康チェックをするのと同時に、いろんな相談を

したいという子の意見も担任が集約できるようになっている。

【生涯学習・文化財保護課長】20歳のつどいについて、出席していただいた方々に会場や式典についてのアンケートを取らせていただき、3月の教育委員会で結果を報告したい。参加職員にも良かった点や改善点などを聞いているので、来年の改善につなげていきたい。

【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会1月定例会を閉会する。

午前11時30分終了

令和7年1月24日

---

(松田委員)

---

(羽生委員)